

図書館だより

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地
 電話 0596-29-3900 FAX 0596-29-3902
 ホームページ <https://iselib.city.ise.mie.jp>
 X(旧 Twitter) @ObataKosodate (全て半角英字)



小俣図書館 図書館行事 ご案内!

●赤ちゃんおはなし会

7月9日(木) 午前11時～ <2階・会議室>
 (定員) 10組程度(当日先着順)



●たんぽぽおはなし会

7月11日(土) 午前11時～ <2階・会議室>
 (定員) 20人程度(当日先着順)

●ピッコの会・紙芝居

7月19日(日) 午前11時～ <2階・会議室>
 (定員) 20人程度(当日先着順)

●図書館おはなし会&工作

7月25日(土) 午後3時～ <2階・会議室>
 おはなしの後、折り紙で「かきごおり」を作ります。
 (対象) 3歳～小学生



(就学前の子どもは保護者同伴)
 (定員) 20人程度(当日先着順)

●上映会

7月18日(土) 午後3時～ <2階・視聴覚室>
**「れっしゃだいこうしん 2025
 キッズバージョン」** <<52分>>
 (定員) 20人程度(当日先着順)



●展示会「戦争と平和を考える」

7月11日(土)～8月16日(日)
 ※最終日は午後3時まで。 <2階・ギャラリー>

●Hello!! English ～英語えほんおはなし会～

7月20日(月・祝) 午後3時～ <2階・会議室>
 ALTによる英語を楽しむおはなし会です。簡単な英語絵本を、英語と日本語で読み聞かせします。
 (対象) 小学生以下の子どもとその保護者
 (定員) 20人程度(当日先着順)



★自由研究応援講座

①たねもしかけもある工作

「ふしぎな部屋」を作ろう!

7月26日(日) 午前11時～ <2階・会議室>
 イラストの位置が入れ代わる簡単な手品「ふしぎな部屋」を作ります。夏休みの工作にいかがですか?
 (対象) 小学生とその保護者
 (定員) 親子10組程度(先着順) ※未就学児の付き添い可

②いみとりカルタを作ろう!

7月26日(日) 午後2時～ <2階・会議室>
 親子で国語辞典の使い方を学び、言葉の意味を調べて書く「いみとりカルタ」を作ります。(作ったカルタは持ち帰ることができます)
 (対象) 小学生とその保護者
 (定員) 親子10組程度(先着順)
 (申込み) ①②ともに、7月4日(土) 午前9時から、直接または電話で小俣図書館へ



開館時間 午前9時～午後7時
 休館日 毎週火曜日、第2金曜日
 年末年始、特別整理期間

最寄りのバス停
 「小俣図書館」

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)
 1団体50冊1か月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー

7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					

※「★」の行事は、申し込みが必要です。
 ※行事詳細は小俣図書館のポスター・チラシをご覧ください。
 ※諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合がございます。
 ご了承ください。

●両館共通 伊勢・小俣図書館合同企画 第17回読書感想画展2026 作品募集

7月1日(水)～8月31日(月)
 本を読んで心に浮かんだあなただけの風景を、自由に描いてみませんか?
 後日、伊勢・小俣両図書館で展示します。
 (応募方法) 本を読んだ感想を絵にしたもの(八つ切り画用紙・横書き、画材は自由)を直接どちらかの図書館窓口へ

伊勢市立伊勢図書館 図書館だより



7月号

令和8年(2026年)7月1日発行
編集・発行 伊勢市立伊勢図書館
指定管理者/株式会社図書館流通センター
住所 〒516-0076 伊勢市八日市場町13-35
電話 0596-21-0077 FAX 0596-21-0078
ホームページ <https://iselib.city.ise.mie.jp>
一般・X(旧twitter) @toshokan_iselib
子育て・X(旧twitter) @isetoshokan
YA・X(旧twitter) @IselibYa



「おはなし会」

《日時》毎週 土曜日 午後2時30分～

《場所》1階・おはなしコーナー

7月4日/おにいさん、おねえさん による おはなし会

7月18日・25日

／おはなしプーさん による おはなし会

11日は夏のおはなし会スペシャルです！申込みが必要です。

えほんの
よみかかせ
かみしばい
など



「上映会」

※12歳未満の方は
なるべく保護者の方
と共にご覧ください。

《日時》7月12日(日) 午後2時～

《場所》2階・視聴覚室 (開場:午後1時45分)

《定員》40人(当日先着順)

「鬼滅の刃①」

第一話 残酷 第二話 育手・鱗滝左近次

〈アニメーション47分〉

おはなしプーさんの夏のおはなし会スペシャル

《日時》7月11日(土) 午後2時～

《場所》2階・視聴覚室

《対象》3歳～小学生(未就学児は保護者同伴)

《内容》いつものおはなし会がパワーアップ!大型絵本の読み聞かせや、かんたんな工作などを行います。外国語指導助手(ALT)による英語絵本の読み聞かせもあります。(小学校低学年向けの内容です)

《定員》20人(先着順)

《申込》6月27日(土)午前9時から、

直接カウンター、電話・FAXで伊勢図書館まで



「あかちゃんえほんのじかん」

《日時》7月23日(木) 午前11時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、手あそびなどをします♪

「あかちゃんえほんのじかん」は、毎月第4木曜日です!

※おはなし会、あかちゃんえほんのじかん、上映会、夏休み子ども映画会 は、申込不要です。

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜日・第2金曜日

・年末年始・特別整理期間

貸出 1人 10冊 2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体 50冊 1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

最寄りのバス停
「伊勢市立
図書館前」

* 伊勢図書館・休館日カレンダー *

7月

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

★ 夏休み子ども映画会 ★

※12歳未満の方は
なるべく保護者の方
と共にご覧ください。

《日時》7月26日(日) 午後2時～

《場所》2階・視聴覚室 (開場:午後1時45分)

《定員》40人(当日先着順)

「劇場版 鬼滅の刃 無限列車編」

〈アニメーション116分〉

図書館新聞を作ろう!

《日時》7月19日(日) 午後1時30分～3時

《場所》2階・視聴覚室

《対象》小学生とその保護者

《内容》図書館のことを取材して新聞を作ります。

《定員》6人(先着順)

《申込》7月4日(土)午前9時から、
直接カウンター、電話・FAXで伊勢図書館まで

図書館工作 2026

～みてみて!わたしの押し本カード～

《日時》7月20日(月・祝) 午後2時～3時

《場所》2階・視聴覚室

《対象》5歳～小学生(未就学児は保護者同伴)

《内容》ひらいてびっくり!飛び出すしかけて

自分の押し本を紹介するカードをつくります。

《定員》8人(先着順)

《申込》7月5日(日)午前9時から、
直接カウンター、電話・FAXで伊勢図書館まで

持ち物

紹介したい本
1冊

第17回 読書感想画展 2026 作品募集

《内容》本を読んで心に浮かんだあなただけの風景を自由に描いてみませんか? 応募いただいた読書感想画は後日、伊勢・小俣両図書館で展示します。

《応募方法》7月2日(木)～8月31日(月)に

本を読んだ感想を絵にしたもの(ハつ切り画用紙横書き・画材は自由)を、直接どちらかの図書館窓口へ

※諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合があります。ご了承ください。



本のごあんない

〔一般書〕



ガウディ没後 100 年



アントニ・ガウディ・イ・クルネットは、1852年スペイン・カタルーニャ地方のレウスで生まれました。リウマチの持病をもつ病弱な子供で、一家がもつ農園で母が農作業をする間、自然観察をして過ごしました。それが自然の造形に関心をもつきっかけになったと言われ、ガウディも「自然は私の師だ」と語っています。

サグラダ・ファミリアが有名ですが、他にも多くの作品があり作品群として世界遺産に登録されています。1900年から1914年に建設されたグエル公園は、志摩スペイン村のグエル広場のモチーフにもなっています。一方ガウディは未完の作者としても知られ、サグラダ・ファミリアの他にグエル公園やカサ・ミラも未完の作品です。

1926年6月7日、ガウディはミサに向かう途中で路面電車で轢かれ、3日後に搬送先の病院で亡くなりました（満73歳）。そして没後100年の今年2月、サグラダ・ファミリアのメインタワーであるイエス・キリストの塔がついに完成しました。ぜひこの機会に、ガウディの世界にふれてみてください。

伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。

◎ガウディ（鳥居徳敏／著 筑摩書房）

◎入門ガウディのすごい建築 やっぱりガウディはおもしろい！（鳥居徳敏／監修 洋泉社）

◎ふしぎの国のガウディ 建築図鑑（入江正之／解説 エクスナレッジ）

〔児童書〕

ビATRIX・ポターの生誕160周年



「ピーターラビットのおはなし」の作者ビATRIX・ポターは、1866年7月28日 ロンドンで生まれました。

このお話は、知り合いの子どもが病気になる時に贈った「絵手紙」をきっかけに生まれたお話です。

可愛いうさぎたちの絵本は、1902年に出版されるとたちまち大人気となりました。

ポターが、大好きなイギリス湖水地方を舞台にした、ピーターラビットとその仲間たちのお話は、今も世界中の人々に愛され続けています。

ポターの生誕から160周年を迎えるこの年に、ビATRIX・ポターの小さな絵本の物語をお届けします。

★ビATRIX・ポター物語（キャティ・ウーリー／文 ジニー・スー／絵 中井はるの／訳 河野芳英／監修 化学同人）

★「ピーターラビット」の丘から（マーガレット・S・ユアン／著 奥田実紀／訳 文溪堂）

★ピーターラビットのおはなし（ビATRIX・ポター／作・絵 川上未映子／訳 早川書房）

★ピーターラビットのおはなし《紙芝居》（ビATRIX・ポター／原作・絵 フレデリック・ウォーン社／監修 教育画劇）

★ピーターラビットのたのしい料理（ビATRIX・ポター／画 フレデリック・ウォーン社／編 北野佐久子／訳 福音館書店）

〔ヤングアダルト〕

「熱烈!!ハンドメイド」

伊勢図書館 YA キャラクター

「イワイとえーちゃん」は10周年！

夏休みに記念イベントを開催予定！

お楽しみに！

今月は、手芸やあみものなどのハンドメイド本を紹介します！

自分の好きな布や糸を使って、オリジナル作品が完成した時の達成感はとても大きいです！

自分や家族、好きな人のために作るのもいいですね。ぜひ、参考に作ってみてください！



（一般書）●だいすきシルバニア 見る・作る・みんなで楽しむ（日本ヴォーグ社）

●はじめてさんのソーイング とにかく作りたいという実践派にぴったり（かわいきみ子／著 NHK 出版）

●とびきりかわいく作れる！私だけの推しぬいぐるみ&もちぬい（寺西恵里子／著 主婦と生活社）

●フェルトで作る、おままごとの布絵本（アップルミンツ）

（児童書）●だいすきてづくり！1 おへやをかざろう（尾崎曜子／著 アリス館）

令和8年、9年の2年にわたって行われる第63回神宮式年遷宮の御木曳行事。

はるか飛鳥時代より（戦乱の世には一時途絶えつつも）1300年も引き継がれてきた神宮式年遷宮。そのための御用材を運ぶのが御木曳です。御木曳行事自体が文献に見られるのはここ550年ほどですが、時代が移り変わっても、この土地に住む人々にとって特別な行事です。

かつては課役・夫役として行われた御用材の運搬ですが、長い歴史の中で次第に地域の特権、誉れとして、奉仕の性質が強くなったようです。また、次第に華美なものへと変遷し、江戸時代には山田奉行より質素儉約を申し付けられることもありました。

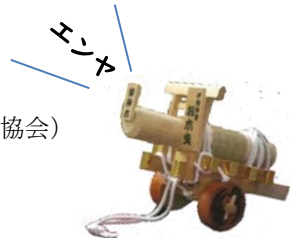
御用材を伐採する山のことを御杣山と呼びます。御杣山はかつて神宮周辺の神路山、高倉山、志摩、宮川上流などでしたが、江戸中期頃からは木曾山ですべて伐採され、木曾川を筏で桑名へ、桑名から伊勢湾を大湊へと海路で運ばれました。大湊からは宮川を経由して陸曳で外宮へ、五十鈴川から川曳で運ばれる御用材は内宮へと、この日のために結成された各町々の奉曳団によって運ばれます。

御木曳のはじまり、御木曳初式は、役木と呼ばれる御正殿に用いられる重要な御用材を神域へと曳き入れるため、役木曳とも呼ばれます。令和8年4月12日、13日の2日間にわたって、内宮領の川曳、外宮領の陸曳が行われました。

そして5月にはいよいよ本曳、まずは陸曳から始まります。揃いの法被に身を包んだ旧神領民により、毎週末には木遣りやエンヤの掛け声が伊勢図書館まで聞こえます。5月31日には慶光院曳が行われました。戦国時代に中断されたご遷宮の復興に三代に渡って尽くした慶光院の寺領であるという由来により、磯町慶光院奉曳団が宮川から内宮まで約8.7kmの道のりを内宮御正殿の扉に使われる御木を陸曳します。7月25日からは川曳も始まります。奉曳車に乗せて綱を曳く陸曳と違い、橈に乗せて川の中を水しぶきを上げて曳いていきます。

2025年下半期直木賞候補作にも選ばれた大門剛明氏の『神都の証人』冒頭でも昭和の川曳の場面が描かれています。また、特別神領民として全国の人々が参加する御木曳も第60回式年遷宮から行われています。御木曳は令和の時代にも様々なかたちで、人々の想いととも受け継がれています。

- ◆伊勢の御木曳 第六十二回 神宮式年遷宮（伊勢文化舎／編 神宮司庁・神宮式年造営庁）
- ◆民俗資料選集4 伊勢のお木曳き行事白石持ち行事（文化庁文化財保護部／編 国土地理協会）
- ◆瑞垣 第139号 昭和六十一年 陽春号（神宮司庁）
- ◆伊勢市史 第八巻 民俗編、第三巻 近世編（伊勢市／編集 伊勢市）



今月は伊勢図書館のスタッフ2人が本を紹介します。

児童書

『風と共にゆとりぬ』

（朝井リョウ／著 文藝春秋）

直木賞作家朝井リョウ氏のエッセイ3部作から、2巻目をご紹介します。「なんで2巻目？」それは本を読んで久しぶりにお腹が痛くなるほど笑ったからです!! 立派な装丁と名作を彷彿とさせるタイトルにまどわされてはいけません! 帯の通り、読んで得るものは何もありませんが、心は確実に軽くなります。

思いっきり笑える場所で読んでくださいね!!
図書館で読むことはおススメしません。(笑)



一般書

『ラプンツェル グリム童話』

（グリム／原作 内田也哉子／文 水口理恵子／絵 フェリシモ）

魔女にさらわれ、森の奥の塔の上で育てられた美女ラプンツェル。ひとりぼっちで過ごす彼女の前に、ある日王子様が現れます。愛し合う二人は秘かに時を重ねますが、とうとう魔女に見つかってしまい…。

内田也哉子氏が紡ぎ出す詩的で洗練された文章はうっとりするほど美しく、今までにない視点から新たな「ラプンツェル」が語られます。

優美に描かれた足の挿絵にもご注目ください。

